

桜井地区地域水産業再生委員会

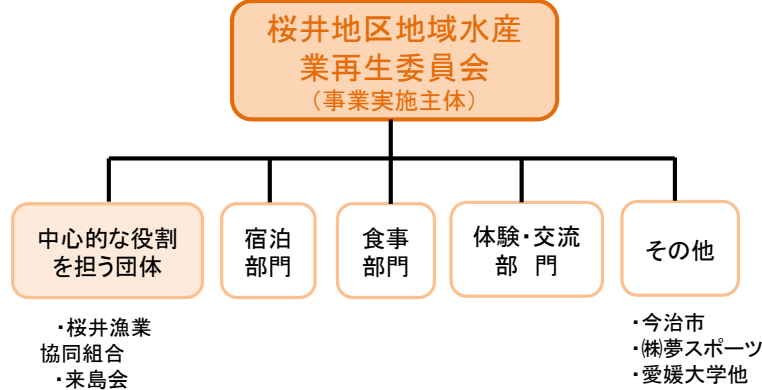
いまばり
〔愛媛県今治市〕

- 組織・人材・基本構想づくり・・・農泊にかかる先進地調査のほか、農家を含めた地域住民によるワークショップや人材の発掘、農泊推進体制の構築等の取組を実施。
- 地域資源調査・・・観光コンテンツにつながる資源及び将来拠点施設候補となる建物等調査。
- 体験づくり・・・観光朝市や漁業体験等の実証実験、環境教育プログラムとしてのアマモ場づくり。

愛媛県今治市



【実施体制】



【採択年度】
平成29年度

【事業実施期間】
平成29～30年度

【特徴的な取組】

○環境教育プログラム

H29、H30年度の2か年において、地元小学4年生(134名)を対象とし、講師による座学、アマモ播種セット完成品(約140個)、H30年度においては播種セット作成(約150個)も行い播種を行った。また、地元中学2年生(176名)を対象とし、アマモ播種セットの半製品を用意、中学生自らで完成させ播種を行った。(約400個)今後海岸清掃や海の環境講座と合わせプログラムに導きたい。



播種セット作り(小学生)



座学(小学生)



播種(中学生)



桜井漁港



桜井海岸(松並木)

【取組内容】

○漁業体験実証実験

漁場までの距離や漁の時間等を考慮すると、短時間商品には向かないが、日没の美しい風景には価値があり、サンセットクルーズを含めた漁業体験の商品化を検討。併せて、魚食体験については、新鮮な魚介類を使った評価が非常に高いことから、運営人材の確保・育成と飲食業としてのブラッシュアップにより商品化を推進。

○観光朝市実証実験

H29、30年度の2か年において計10回実施。延べ集客数約5,100名、延べ売上金5,492,473円。多くの集客を得ることが出来たが、人員・経費等にかかる負担も大きいため、ビジネス化に向けた運営方法等についての検討が必要。

○地域水産物を使った特産品開発研修

計2回述べ18名参加により、世界的評価の高い地元の若手料理人を招き開発研修を行った。料理人の技能は想像以上に高く、参加者の知識は向上したが、実践まではいかず、引き続き研修が必要。また、加工品への活用の可能性を感じられた料理もあり、土産品開発としても展開。

○地域資源調査

魅力ある観光コンテンツを発掘するため愛媛大学に委託した調査では、1年目の地域資源調査を基に観光コンテンツを作成し、再生委員会においてはそれら素材を活かしたHPを立ち上げた。また、パンフレットやHP素材用の動画の編集も行った。今後は、これらの素材を活用した情報発信を実施。

インバウンド対応状況(青:対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約